

平成27年度青森市指定管理者選定評価委員会（モニタリング調査）会議概要

- 1 日 時 平成28年3月24日（木） 14：25～
- 2 場 所 青森市浪岡中央公民館
- 3 対象施設 青森市浪岡中央公民館
- 4 出席者
  - (1) 青森市指定管理者選定評価委員会  
委員長 相馬 紳一郎（市民政策部理事次長事務取扱兼企画課長事務取扱）  
委員 池田 享誉（青森公立大学准教授）  
委員 佐々木 信一（東北税理士会青森支部税理士）
  - (2) 指定管理者（浪岡生涯学習施設管理運営協議会）  
管理責任者 山内 健逸  
主 査 古畑 幸子
  - (3) 施設所管課（教育委員会事務局浪岡教育事務所教育課）  
課 長 山内 秀範
  - (4) 制度所管課（市民政策部政策推進課）  
主 幹 岩渕 寿哉  
主 事 小野 寛史
- 5 案 件 青森市指定管理者選定評価委員会によるモニタリング調査

6 主な質疑

(委員)

平成27年度の事業計画書の中で、実施していない事業はないか。

(指定管理者)

参加者を募集したものの応募がなかった事業を除いては、事業計画書どおり実施することができた。自主事業としては、浪岡中央公民館マスコットキャラクターを公募し、公民館発行のチラシに活用している。また、東日本大震災の復興支援としてチャリティーバザーを開催し、売り上げの一部や来場者からの募金を、被災地のボランティアに行く浪岡高校の生徒を通じ、陸前高田市に寄付した。

(委員)

実施できなかった事業とは何か。

(指定管理者)

「梵珠山の登山」と「高山植物の写真撮影会」である。学校行事と重なったこともあり、申込者がなかったため実施を見送った。

(委員)

施設の利用者から職員の対応について苦情が寄せられている。日頃から接遇には十分気を付けていることと思うが、利用者のためにも、今一度、対応を検討して欲しい。

(指定管理者)

館内の掲示板に寄せられた苦情に係るお詫び文を掲載し、接遇について改めて指導した。また、館長と職員の面談機会を設け、自己評価表を作成することとした。

(委員)

館内の掲示板に、お詫び文のみならず、自己評価表も掲載している点は評価できる。

(委員)

現金の盗難事故が発生しないよう、事務室には職員が常駐し、不在になる場合は必ず施錠すること。また、現金は鍵付きのキャビネット又は金庫で保管すること。

(指定管理者)

そのように対応する。

(委員)

施設の利用を希望しても、利用できないことはあるのか。

(施設所管課)

ある。ただし、利用希望日が重なる場合は利用時間を短く区切るなど、多くの団体が利用できるよう配慮している。